



2017年4月28日

各位

会社名 日立金属株式会社
代表者名 執行役社長 平木 明敏
(コード番号 5486 東証第一部)
問合わせ先 コミュニケーション室長 南 達也
(TEL. 03-6774-3077)

2018年度中期経営計画について

当社は、2018年度を最終年度とする3か年の中期経営計画のもと、経営基盤を強化することによりグローバル市場における成長を推進し、高機能材料メーカーとして持続的に発展することをめざしております。

本計画では、収益率向上を伴うグローバルでの事業拡大をめざし、オーガニックグロースを拡大するとともに、M&Aを含む大胆な成長戦略投資によりポートフォリオの継続的な刷新を図っております。

初年度となる2016年度においては、このような基本方針のもと、オーガニックグロースの拡大、ポートフォリオの刷新、M&Aによる成長、経営基盤の強化といった様々な施策を実行し、成長の基盤づくりへスタートダッシュを実行しました。

こうした成果を受け、本計画の2年目となる2017年度においては、コーポレート主導による3つの改革（「モノづくり改革」「営業改革」「R&D改革」）に加え、経営資源に対する積極的な投資を行うことにより、オーガニックグロースのさらなる拡大を加速していきます。

なお、現在の市場環境等を踏まえ計画のローリングを行った結果、為替前提、原材料価格や需要動向について見直すとともに、不確定要素の多いM&A案件について業績目標への織り込みを保守的に見直し、最終年度の業績計画を以下の通り更新いたします。

	2018年度計画 想定為替レート 1\$=115円 (2016年5月10日公表)	2018年度計画 想定為替レート 1\$=110円 (2017年4月28日公表)
売上収益	1兆1,200億円	1兆円
調整後営業利益	1,200億円	1,000億円
IFRS 営業利益*1	1,120億円	—
EBIT	1,120億円	910億円
当期純利益*2	750億円	610億円
ROE	12.2%	10%超
海外売上収益比率*1	58%	—

*1 IFRS 営業利益は「その他の収益」「その他の費用」について、海外売上収益比率は為替動向について、それぞれ不確定要素が多いことから更新した計画値を算出しておりません。

*2 親会社株主に帰属する当期利益

以上